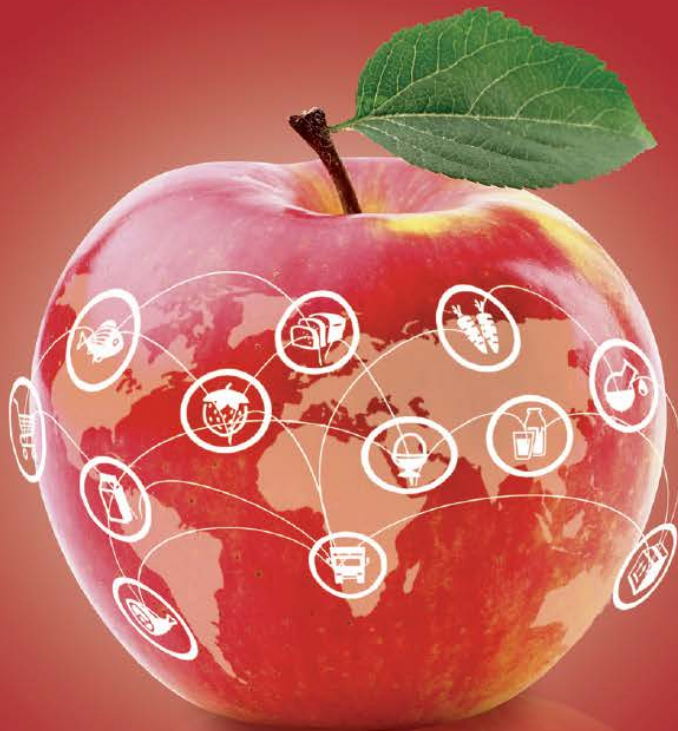




# 世界食品安全会議 2018

日本で初めて開催!

2018年3月5日～8日  
東京 日本



公式プログラム

[www.tcgffoodsafety.com](http://www.tcgffoodsafety.com)

世界60ヶ国から  
1000名を超える食品安全のエキスパートが  
集まる日

2018年3月5日～8日  
グランドニッコー東京 台場  
東京 日本



# 公式プログラム

3月6日 (火)

10.00 - 12.00 | GFSIとあなた\_スポンサー: レントキル・イニシャル

ヴェロニーク・ディスクール-ビュオーとマイク・ローバック氏が、会議前の特設セッションにてGFSI2018の幕開けを飾ります。このセッションでは、GFSIの目標および食品安全性の向上における最新の取り組みに加え、GFSIの方針を社内を導入する手法に関する洞察を紹介します。民間部門、公共部門および人道部門における食品業界のリーダーを集め、このセッションではこれから始まる素晴らしい会議内容の一端を披露します。

世界各地の食品安全機関および地域公共団体のリーダーが、世界中の消費者に、より安全な食品を届けるため、公共部門と民間部門との協力を推進するための取り組みやGFSIの役割について議論します。

講演者は、食品安全の未来について見解を共有し、官民パートナーシップを通じていかにGFSIグローバル・マーケット・プログラムの規模が拡大し、国内および世界レベルで第三者認証が普及しているかを示す国内の優れた事例紹介を行います。また、主要な政府間組織が人道部門ならびに中南米、アジアおよびアフリカの新興市場の開発プログラムにおける食品安全の推進に対する洞察と新たな手法を紹介します。

> シャランジット・レイル\_司会  
国際的ニュースレポーター (シンガポール)

> ヴェロニーク ディスクール-ビュオー  
GFSIディレクター、CGF (フランス)

> マイク・ローバック  
カーギル (アメリカ)  
企業食品安全、品質・規制担当副社長

> アンディ・ランソム  
レントキル・イニシャル CEO

GFSIの代表者、CPOパネリストおよびGFSIローカルグ

12.00 - 13.30 | 昼休憩

テック・トーク @ 展示エリア

12.30-12.45 : CGF プレゼンテーション

12.50-13.05 : スポンサー・トーク\_GS1 フランス

13.30 - 15.00 | オープニング・プレナリー  
食品安全文化とリーダーシップ

堅牢な食品安全システムを備える企業には共通点があります。それは、トップダウン型の力強い食品安全文化です。今年のオープニング・プレナリーでは、小売業界における世界のトップブランドのCEOらがパネリストを務め、食品安全文化の育み方は国や企業により異なるものの、力強い食品安全文化の育成に重要な土台は変わらないということを実証します。

イオン株式会社取締役兼代表執行役社長およびグループCEOを務める岡田元也氏、そして味の素株式会社代表取締役 取締役社長兼最高経営責任者を務める西井孝明氏が、食品安全におけるCEOのリーダーシップの重要性および食品安全文化の影響について述べます。また、コストコジャパン日本支社長のケン・テリオ氏は、メンバーとサプライヤーのための製品品質の継続的改善および食品安全システムについて説明します。

> シャランジット・レイル\_司会  
国際的ニュースレポーター (シンガポール)

> 上月良祐  
農林水産大臣政務官

> 岡田元也  
イオン株式会社 取締役兼代表執行役社長 グループCEO

> ケン・テリオ  
コストコホールセールジャパン 代表取締役/日本支社長

> 西井孝明  
味の素株式会社 代表取締役 取締役社長 最高経営責任者

15.00 - 15.45 | ネットワーキング休憩

テック・トーク @ 展示エリア

15.15-15.30 : スポンサー・トーク\_BSI



## 15.45 - 17.15 | プレナリー2

### 顧客の声に積極的に耳を傾けていますか？

今、革命が起きています。顧客はかつてないほどに、情報に基づいた意思決定を行い、他者への影響力を持っています。顧客はもはや傍観者ではなく、積極的な参加者となり、人々とブランドとの関わり方にも大きな変化がもたらされました。企業が顧客の声に耳を傾け、協力し、革新を生み出すことで事業が繁栄するという事は、歴史上でも証明されています。

日本マクドナルドホールディングス株式会社の代表取締役社長兼CEOサラ・カサノバ氏は、食品安全事故を受けて顧客の声に耳を傾け、顧客の意見を活用して成功に繋げることで驚くべき復活を果たしました。デブリーズ・グローバルのCEOを務めるハイディ・ホブランド氏は、影響力を活用して顧客との関わり合いを促進し、新たな顧客優先の製品アイデアを共に生み出すとともに、ブランドに文化コミュニケーションをもたらす手法を紹介します。アマゾンの安全衛生、サステナビリティ、セキュリティ&コンプライアンス部門のVPを務めるカーレッタ・ウートン氏は、顧客フィードバックに関する自動モニタリングをはじめとする最先端のEコマースにおける顧客体験の要素について説明します。

> **シャランジット・レイル** 司会  
国際的ニュースレポーター（シンガポール）

> **サラ・L・カサノバ**  
日本マクドナルドホールディングス株式会社  
代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）

> **ハイディ・ホブランド**  
米デブリーズ・グローバルCEO

> **カーレッタ・ウートン**  
米アマゾン 安全衛生、サステナビリティ、  
セキュリティ&コンプライアンス部門 副社長

## 17.30 - 19.00 | 公式カクテルパーティー \_ スポンサー：ヤマトホールディングス

## 3月7日 (水)

### 08.15 - 09.15 | スペシャルセッション

同時セッション スポンサープレゼンテーション:

- > **ビューローベリタス** スマートラベルによる食品トレーサビリティ：ブロックチェーン革命
- > **エコラボ** さらになる発展を解き放つ：乳牛から牛乳カートンまで
- > **グリーンフェンス** ブロックチェーン・プラットフォーム・エコシステムの台頭と食品安全にもたらす影響
- > **レントキル・イニシャル** テクノロジー、イノベーションおよびビッグデータが食品安全に変化をもたらす

### 09.30 - 10.45 | 同時ブレイクアウトセッション

#### ブレイクアウトセッション1

##### 養殖漁業

国連食糧農業機関は、世界で最も急成長している食糧生産システムとして、世界における魚の供給の50%を占める養殖漁業を挙げています。この分野の成長はさらに拡大し、安全性と持続可能性に対する需要は持続的に拡大すると予想されます。それに伴う複雑な環境および生物安全保障上の課題に対応し、持続可能で公正な養殖漁業戦略を策定することが重要となります。

業界をリードする講演者が、品質とトレーサビリティの重要性に焦点を当てます。彼らは、世界の養殖漁業サプライチェーンが安全で確実かつ持続可能であることを確実にするためのベストプラクティスについて概説します。第一水産株式会社専務取締役の田口耕平氏は、水産物の卸売業者が東京の築地市場でどのように費用対効果の高い衛生環境を改善したかについて説明します。また升間主計氏は、太平洋クロマグロ（PBFT）の飼育技術を改善するために近畿大学の水産研究所が実施している取り組みについて紹介します。これらの技術は、孵化場で飼育された数十万ものPBFTの稚魚において、全ライフサイクルを通じたトレーサビリティを可能にし、メチル水銀の濃度を低下させるという成果をもたらしました。SGSにて養殖漁業・水産物認証のグローバルマネージャーを務めるコーマック・オサリバン氏は、養殖水産物認証プログラムによる残留抗生物質に関連する食品安全リスクの管理手法を紹介いたします。

> **ジョン・カーター** 司会者  
ダノン（フランス）品質担当副社長

> **田口 耕平**  
第一水産株式会社 専務取締役

> **ヤコボ・ノボア**  
ビューローベリタス（スペイン）  
漁業・養殖業ディレクター

> **升間 主計**  
近畿大学水産研究所 所長兼教授（日本）

> **エロア・キノネス**  
メトロ（スペイン）  
グローバル品質保証  
生鮮・冷凍食品ダイレクター

> **コーマック・オサリバン**  
水産物・養殖漁業 SGSアイルランド  
（アイルランド共和国）フード&ライフ部門  
セグメント・マネージャー





## ブレイクアウトセッション2 規制当局が担う役割の変遷

技術変化の速度が急速に増している世界において、規制当局はその変化に対応すべく進化を遂げる必要があります。新たなデジタル技術が次々に出現し、グローバルサプライチェーンがより複雑さを増して相互依存的になるのに伴い、反復的な国際的食品安全基準の必要性がますます明らかになってきています。これらの課題は、国際標準を導入し、ベンチマーク要件を満たすことに努めている新興市場においてはさらに顕著になっています。

当セッションでは、世界貿易機関（WTO）にて標準・貿易開発ファシリティ（STDF）のヘッドを務めるメルビン・スプレイジ氏およびコーデックス委員会の委員長を務めるギリェルメ・ダ・コスタ氏を講演者に迎え、これらの基準の導入が貿易の拡大、そして世界中の消費者へ、より安全な食品の提供にいかにか寄与しているかを議論します。パネリストは、将来においても有効な規制制度の整備手法に関する洞察を共有するとともに、基準の実施や第三者品質保証の強化における官民連携の役割を紹介いたします。

> **アンソニー・ヒューゲット\_司会**  
ネスレ（スイス） 品質管理部門ヘッド

> **ギリェルメ・ダ・コスタ\_**  
コーデックス委員会（ブラジル）委員長

> **メルビン・スプレイジ\_**  
世界貿易機関（スイス）  
基準・貿易開発ファシリティ（STDF）ヘッド

> **マイク・ローバック**  
カーギル（アメリカ）企業食品安全、  
品質・規制担当副社長

> **ポール・メイヤーズ\_**  
カナダ食品検査庁（カナダ）  
科学部門バイスプレジデント

> **スティーブン・オストロフ博士\_**  
アメリカ食品医薬品局（FDA）  
食品・動物用医薬品部門  
デピュティ・コミッショナー

> **ロバート・G・エイハーン博士\_**  
IICA（アメリカ）農業健全性および食品安全部門リーダー

> **アシシュ・バフグナ\_**  
FSSAI局長

## ブレイクアウトセッション3 食品安全文化の向上-グローバルな知見と実践事例

当ブレイクアウトセッションでは、世界的な食品安全文化の育成というGFSIの主要なミッションを念頭に、この分野における世界の専門家が集結します。ヨーロッパ、アジアパシフィックおよびアメリカのリーダー陣が、異なる戦略間における共通のテーマに焦点を当て、独自の食品安全文化モデルを共有します。

カルティベイトの社長兼創業者であるロネ・イエスペルセン氏や、フォンテラの変革・統合部門GMを務めるジョアンナ・ギルバート氏をはじめとする講演者が、企業の価値観、ビジョンおよび人事制度への影響から、関連するリスクやハザードに至るまで、優れた食品安全文化の創造におけるあらゆる側面をテーマに議論を繰り広げます。また、企業独自の食品安全文化の構築に際しての有効な取り組みや失敗事例について、実践例を交えて紹介いたします。

> **ケリー・ブリッジス\_司会**  
ウォルマート（アメリカ）  
サプライヤー・フード・セーフティ シニア・ディレクター

> **ロバート・グラヴァニ\_**  
コーネル大学（アメリカ）  
食品科学学部 名誉教授

> **ジョアンナ・ギルバート\_**  
フォンテラ（ニュージーランド）  
変革・統合部門 GM

> **サラ・モーティマー\_**  
ランド・オ・レーク（アメリカ）  
製品安全性、品質および規制部門 バイスプレジデント

> **ロネ・イエスペルセン\_**  
カルティベイト（スイス）社長

10.45 - 11.30 | ネットワーキング休憩 \_ スポンサー: ダノン

テック・トーク @ 展示エリア  
11.00-11.15 : スポンサード・トーク \_  
ヤマトホールディングス



### 11.30 - 13.00 | プレナリー3

#### GFSIグローバル・マーケット・プログラム - キャパシティ ビルディングと食品安全文化構築への道のり

GFSIの中核戦略目標は、キャパシティビルディングおよびグローバル・マーケット・プログラムを中心に展開しています。専門家パネルがケーススタディを紹介するとともに、共働の取り組みを通じ、世界各地で大きく異なる方法により一次生産が管理されていることについて議論します。重点は異なるものの、世界中の消費者に安全な食品を届けるという目標は同じです。

GFSIグローバル・マーケット・プログラムは、これらの企業に対して非認証のエンタープライズを提供します。その段階的なプログラムは、生産および製造作業におけるキャパシティビルディングを構築し、一連の継続的改善を実施することを目的としたものです。当プレナリーセッションでは、キャパシティビルディングプログラムと食品安全文化の導入との関連性に焦点を当てます。

当セッションは、公共部門がキャパシティビルディングを通じて食品安全文化の発展にどのように貢献しているかを具体的にみていきます。食品安全を推進するにあたり公共部門が果たす役割に関し、英国食品基準庁のジェイソン・フィーニー氏が講演を行います。

2015年の世界食品安全会議5でご登壇いただいたサマンサ・マー氏を再び迎え、グローバル・マーケット・プログラムの実施に際して経験した課題や利点についてお話いただきます。また、年次開催の第2回グローバル・マーケット・プログラム・アワードもぜひご覧ください。受賞者は、マイク・テイラー氏とグリーンフェンスのCEOを務めるミッチェル・チャイト氏、ならびに企業食品安全、品質・規制担当副社長、GFSIボード議長を務めるマイク・ローバック氏により発表されます。

> **シャランジット・レイル** 司会  
国際的ニュースレポーター (シンガポール)

> **サマンサ・マー**  
ワイド・トロピズム (マレーシア)  
マーケティング・マネージャー

> **マイク・テイラー**  
FDA (アメリカ) 元副長官

> **ジェイソン・フィーニー**  
英国FSA長官

> **スティーブン・オストロフ** 博士  
アメリカ食品医薬品局 (FDA)  
食品・動物用医薬品部門  
副コミッショナー

> **ビル・ジョリー**  
ニュージーランド第一次産業省  
保証戦略チーフオフィサー

### 13.00 - 14.30 | 昼食休憩\_スポンサー: カーギル

#### テック・トーク @ 展示エリア

13.30-13.45: スポンサーード・トーク\_キューブド・ラボラトリーズ  
13.50-14.05: スポンサーード・トーク\_IFS

### 14.30 - 16.00 | プレナリー4

#### 食品産業における先端技術 - 新たな領域、挑戦と機会

科学技術の進歩から、私たちは何を学ぶことができるのでしょうか？他の産業に目を向けることで、食品安全性向上の新たな機会を見出すことができるのでしょうか？それらの機会から、新たにどのような課題がもたらされるのでしょうか？一連の明快なプレゼンテーションにおいて、これらの疑問やその他の事柄が議論されます。

コーネル大学の専門家が、ビッグデータやデジタル・トランスフォーメーションから食品科学や持続可能性に至るまで、科学技術の進歩を活用してイノベーションを起こし、食品安全に関する慣行を革新的に改善する手法について説明します。また、実験室育ちのミールキットや漫画本が日本の学童の家庭に食品技術をもたらしている様子についても紹介します。

> **シャランジット・レイル** 司会  
国際的ニュースレポーター (シンガポール)

> **マーティン・ウィードマン**  
コーネル大学 (アメリカ) 食品安全学 教授  
(Gellert Family Professor)

> **羽生雄毅** 博士  
インテグリティカルチャー (日本)  
ショウジンミート・プロジェクト

> **マテルダ・ホー (何瑞怡)**  
ピッツアンドバイツ (中国)  
創業者兼マネージング・ディレクター

### 16.00 - 16.45 | ネットワーキング休憩\_スポンサー: ダノン

#### テック・トーク @ 展示エリア

16.15-16.30: スポンサーード・トーク\_テストー



## 16.45 – 18.00 | 同時ブレイクアウトセッション

### ブレイクアウトセッション4

#### グローバル・マーケット

GFSIのグローバル・マーケット・プログラムについて、そしてこのプログラムが組織にどのような利益をもたらすかに関心をお持ちの方は、ぜひ当セッションにご参加ください。グローバル・マーケット・プログラムを通じた認証取得のプロセスをご案内します。当プログラムにより、生産・製造業務における能力構築を継続的に改善するための漸進的アプローチがどのように提供されるかを紹介いたします。

公共部門および民間部門のパネリストが、地域レベルで規模を拡大するために当プログラムをそれぞれどのように活用しているかについて、総合的な観点から説明します。また、こうした活用が、世界の食糧サプライチェーンにおけるハザードリスクの軽減や、市場アクセスの改善にどのように貢献しているかを紹介いたします。

一方、様々な政府間組織のパネリストは、開発途上国や緊急事態における食品の安全性と品質の脆弱性を取り上げます。こうした環境に暮らす脆弱な人々を救援する人道活動組織は、国の規制や不確実なリスクに配慮しなければならない中で、信頼性の低い、あるいは機能を果たさない食品安全システムにしばしば直面しています。講演者は、GFSIグローバル・マーケット・プログラムなどのスキームが、いかにして現地の製造業者にとって効果的な食品安全管理システムを構築するための解決策になり得るかを考察します。

### ブレイクアウトセッション5

#### ビッグデータ

コンシューマー・グッズ・フォーラムのルーディガー・ハーゲドルン氏が司会を務める当セッションでは、食品産業におけるビッグデータと予測分析の新たな役割がテーマとなります。製造から輸送、加工および包装に至るまでのデータを収集、監視および分析することにより、ビッグデータは、食品の安全性とトレーサビリティに対する食品産業の専門家や消費者の考えに変化をもたらしています。

講演者は、利用可能な様々なツールやビッグデータのアプローチを検証し、これらの能力が消費者エンゲージメント、サプライチェーンセキュリティおよび食品品質の向上にどのように寄与するかについて説明します。自らが所有または共有するデータのROIを拡大しつつ、分析を活用することで食品安全リスクを予測・管理する手法についての貴重な洞察が提供されます。

#### > ダニエラ・フェテカウオヴァ\_司会

メトログループ 品質保証部門  
グローバルディレクター、バイスプレジデント

#### > サラ・オックマン

IFC食品安全アドバイザー (ケニア) グローバル・リード

#### > フェルナンド・アヴェレイラ

ウォルマート・インターナショナル (アメリカ)  
食品安全部門 シニアマネージャー

#### > カーラ・メイヤー

国連世界食糧計画 (タイ)

#### > ルーディガー・ハーゲドルン\_司会

CGF、E2EVC (フランス) ディレクター

#### > レベッカ・リャオ

スクチェーン (アメリカ) 事業開発・戦略部門 VP

#### > ミッチェル・チャイト

グリーンフェンス (CEO)

#### > ケリー・ブリッジス

ウォルマート (アメリカ)  
サプライヤー食品安全部門  
シニア・ディレクター

#### > クレイグ・ウィルソン

コストコホールセール (アメリカ) GMM品質保証/ 食品安全/非食品品質保証 /マーチャントサービス/環境サービス  
および危険物 バイスプレジデント

#### > クリス・モリソン

トランスペアレンシー・ワン (アメリカ) CEO



## ブレイクアウトセッション6

### 監査員力量 新情報は？

最後のブレイクアウトセッションでは、食品安全監査員の役割の変化について考察します。技術の開発と新たなリスク分野は、既存の監査員力量に変化をもたらすと同時に、いくつかの重要な問題を提起しています。監査員力量に対する新たなアプローチは、食品の透明性や信頼性の向上に繋がるのでしょうか？認証プログラムの実施者、認証機関および既存の監査員にとって、これらの変化はどのような意味を持つのでしょうか？

ボブ・ガーフィールド氏は、「習慣の力（原題：The Power of Habit）」が食品安全機関における監査手法を見直すきっかけとなった経緯や、監査を予測しにくくするためにCPOが果たすことのできる役割について紹介します。ISACertのマイケ・テ・リエレ氏は、この分野における自身の経験を共有し、ロバート・プレヴァンダー氏は、Google Glassを用いたNSFによる監査の遠隔監視およびリアルタイム評価の手法について説明します。

講演者は、こうしたウェアラブル技術の活用が、無数の監査アプリケーションを通じて食品産業にどのように改革をもたらしているかを考察します。業界の洞察、ベストプラクティスや新たなトレンドに加え、活用されている技術のケーススタディや対話式のデモンストレーションに関するプレゼンテーションが予定されています。当セッションを通じ、ウェアラブル技術について、そしてこの技術が即時性の向上や効率の向上、コスト削減、ひいては食品の安全性と品質の向上に繋がることについての理解を深めることができます。

> **ロバート・プレヴァンダー**  
NSFインターナショナル（アメリカ）  
サプライチェーン食品安全性  
グローバル・マネージング・ディレクター

> **ビザン・プアコマイラン博士**  
マクドナルド・レストラン（イギリス）  
レストラン&ディストリビューション  
グローバルセーフティ部門 ディレクター

> **ロバート・ガーフィールド**  
食品安全品質機関（アメリカ）  
食品安全チーフアセスメントオフィサー兼SVP

> **マイケ・テ・リエレ**  
Vinçotte ISACert（オランダ）ゼネラル・マネージャー

> **ロッド・エインズワース**  
食品基準庁（イギリス）規制・法務戦略部門  
ディレクター

## 19.30 | 公式カクテルパーティー&夕食会 \_ スポンサー：グリーンフェンス

## 3月8日（木）

### 08.15 - 09.15 | 特別セッション

同時セッション スポンサープレゼンテーション：

- > **ディバーシー (Diversey)** 技術と食品安全性—技術は食品事業の経営効率と食品安全文化にいかなる影響をもたらすか
- > **DNV. GL** フードチェーンにおけるデジタル・トランスフォーメーション：より安全で持続可能な食品の実現に向けた道のり
- > **SAI グローバル** 消費者の信頼は、失っても構わない程度のものでしょうか？
- > **SGS** 大規模イベントにおける食品サプライチェーンを守る：課題と戦略

### 09.30 - 10.45 | 同時ブレイクアウトセッション

## ブレイクアウトセッション7

### 一次農産品

安全な食品は、サプライチェーンのスタート地点となる農場で生産されます。実際に、一次生産におけるキャパシティビルディング（能力強化）がGFSIの中核となる戦略的目標の一つとなっています。多くのステークホルダーが、GFSI認定の農場認証基準の世界的な導入を推進するために素晴らしい取り組みを実施しています。ケーススタディや専門家によるパネルディスカッションを通じ、協力的努力のもとで一次生産が世界各地で全く異なる手法により管理されている様子を紹介します。

オーストラリアの5つの小売店チェーンによる、生鮮食品に関する整合規格の開発について紹介します。統一オーストラリア小売業者生産計画（HARPS）は、認証、監査時間および直接・間接経費を削減しつつ、ダイレクトサプライヤーがGFSI基準を満たすことを確実にするものです。

生産者がリアルタイムで実施している世界の食品会社との知識交流に関する掘り下げた議論を通じ、食品安全の未来に目を向けてみましょう。サプライチェーン間における食品安全データの即時的な検証および同期を可能にする、業界が開発したオープンソースのフレームワークを紹介します。

最後に、農業部門や日本の高等学校が2020年以降を見据える中で、日本における食品安全と一次生産を主流化するための最新の取り組みについてお話しします。

> **ジリアン・ケラハー\_共同司会**  
ウェグマンズ・フードマーケット（アメリカ）  
食品安全・品質保証担当副社長

> **クリスチャン・モエラー\_共同司会**  
グローバルG.A.P CEO（ドイツ）

> **クレア・ハミルトン-ペイト**  
フレッシュケア（オーストラリア）産業開発  
ゼネラル・マネージャー

> **岸克樹**  
イオンリテール株式会社（日本）品質管理部長

> **ドリュー・ザブロッキ**  
セントリシティ・グローバル（アメリカ）  
CEO兼イノベーター

> **ジェームズ・ウィッター**  
コールス（アメリカ）レスポンスブル・ソーシング&クオリティ部門  
ヘッド





## ブレイクアウトセッション8

### 食品偽装コンプライアンスの課題と成功

貴社は堅牢な食品偽装防止戦略を備えていますか？近年、食品偽装事件が注目を集めている中、食品偽装のリスクを軽減するために具体的な対策を実施することが重要になっています。このセッションでは、実際の食品偽装事件における具体的な対策の実施について理解するとともに、専門家が従来型のアプローチから革新的な対応へと移行している流れを明らかにし、食品偽装のリスクを低減するための複合的アプローチの適用手法を実証するという3つの重要な学習目標を伝える目的のもと、食品偽装防止戦略の「背景」を探っていきます。

オランダ食品消費者製品安全庁の食品安全シニアアドバイザーを務めるハンス・ボイガー氏は、最近起きた卵のフィブロニル汚染事故の影響について説明します。この事故を受けて19の具体策が策定され、食品偽装に対するEUの活動が強化されました。

ダノンの食品安全オフィサーを務めるフレデリック・レネ氏は、同社が今年直面した実際の偽装事件の経験について述べます。このプレゼンテーションにおいては、偽装者の種類やその手口を取り上げるとともに、従業員とブランドイメージを保護し、警察と連携して「秘密」捜査を実施するとともに当局と消費者向けの情報を管理するという、同社が経験した困難な体験について説明します。

## ブレイクアウトセッション9

### 食品サービスおよびホスピタリティの方向性を見直す

このセッションでは、食品サービスおよびホスピタリティといった観点から食品安全文化について考察します。世界経済において最も重要でありかつ最も急速に成長しているセクターの一つとして、ホスピタリティ産業は興味深い食品サービスのイノベーションに取り組んでいます。

アジアはこの改革の最前線にあり、特に中国はEコマースや食品宅配市場を主導しています。WeChatやQQにシームレスに組み込まれた食品宅配プラットフォームである美团-大衆点評にて食品安全部門のチーフオフィサーを務めるヨンジアン・ゾン氏は、食品の宅配と急速な成長に関連した固有の食品安全課題について説明します。世界中の小売業者が、ショッピング・ダイニングの経験を融合し、店舗をより経験的に感じさせるこのトレンドに乗じています。非常に興味深い当セッションでは、食品サービスの提供における最新のイノベーションや、現代のミレニアル世代の顧客のニーズに確実に応えるためにすべき事柄について紹介します。

10.45 - 11.30 | ネットワーキング休憩

テック・トーク@ 展示エリア  
11.00-11.15: ANSI プレゼンテーション

11.30 - 13.00 | プレナリー5

### 2020年東京オリンピック、栄養と食品の未来

食品の未来はどのようなものになるのでしょうか？消費者動向は、産業を今後どのような方向へ導くのでしょうか？増加する人口に応じ安全な食品を供給するため、どのような技術を活用することができるのでしょうか？第5番目の、そして最後となる当プレナリーでは、強い影響力を持つ革新的な講演者を招き、栄養、食品の未来、そして2020年東京オリンピックといった多様なトピックを取り上げます。締めくくりに、GFSIボードメンバーが当カンファレンスを受けての意見を取りまとめ、重要な学びを振り返ります。

#### > ジョン・スピック\_司会

ミシガン州立大学 (アメリカ)  
食品偽装防止イニシアチブ ディレクター兼助教授

#### > ハンス・ボイガー\_

オランダ食品消費者製品安全庁  
食品安全シニアアドバイザー

#### > フレデリック・レネ

ダノン (フランス) 食品安全チーフオフィサー

#### > バーナード・ガレア

ダノン (フランス) セキュリティおよび競合情報チーフオフィサー

#### > アルフォンソ・カプテロ

AIB認証サービス (アメリカ)  
ゼネラル・マネージャー

#### > テレンス・ラウ

香港理工大学 革新・技術開発学部長

#### > ダグ・デイビス\_

マリOTT (アメリカ)  
グローバル食品安全部門 シニア・ディレクター

#### > ヨンジアン・ゾン\_

美团-大衆点評 (中国) 食品安全部門 チーフオフィサー

#### > クレイグ・ウィルソン\_

コストコホールセール (アメリカ) GMM品質保証/食品安全/  
非食品品質保証 / マーチャントサービス/環境サービスおよび危険物 パイスプレジデント

#### > シャランジット・レイル\_司会

国際的ニュースレポーター (シンガポール)

#### > 鈴木 大地

日本スポーツ庁長官/  
オリンピック金メダリスト (日本)

#### > 出雲 充

株式会社ユーグレナ 代表取締役社長 (日本)

#### > アディエッジ・バカス\_

トレンドオフィス・バカス (オランダ)  
トレンドウォッチャー